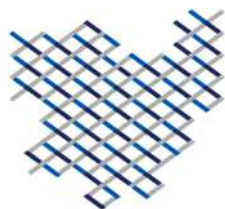


令和8年度

企業変革・

スタートアップ・

グロースサポート事業



Kitakyushu
SDGs Start up
Ecosystem
Consortium

北九州市
スタートアップ推進課

“ものづくりのまち”が舞台の
課題解決プロジェクト



Kitakyushu
Action!
動かせ、未来。北九州市

北九州市産業振興未来戦略

戦略の位置づけ

- ✓ 今後のまちづくりの方向性を示す北九州市基本構想・基本計画は、経済成長を最優先課題に位置付け。10年以内に市内総生産 4 兆円を目指す。
- ✓ 本戦略は、基本構想・基本計画の分野別計画として、「稼げるまち」の実現に向けた具体的な指針。

戦略体系

スローガン | 世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」～課題解決先進都市への挑戦～

戦略

地域企業の成長・発展と
高付加価値化戦略
〈稼げる企業に変革する〉

産業の裾野を広げる
成長産業創出戦略
〈稼げる企業を創出する〉

「民」が主役の
資源活用戦略
〈稼げる企業が活躍する〉

方策

産業基盤のポテンシャル開花
〈稼げる場づくり〉

学術研究都市の知の活用とGX・グリーン産業の推進
〈稼げる基盤づくり〉

生産性向上と新しい価値創造に向けたDX推進等
〈稼げる企業づくり〉

DE&I推進による誰もが活躍できる環境の整備
〈稼げる人材づくり〉

アテンションを集めるブランディング
〈稼げるきっかけづくり〉

メガリージョンの構築
〈稼げるエリアづくり〉

取組

(スタートアップ関連のみ抜粋)

アジア諸国の成長力を取り込む
対日投資の促進
海外スタートアップの誘致

スタートアップと
多様な掛け合わせによる
新たな価値の創造
スタートアップ
×
課題・市内企業・レガシー産業

エリアで掛け合わせる広域連携
スタートアップ支援の推進
都市間連携・大学間連携

北九州市のスタートアップ支援の方向性

ものづくり・グリーン・ソーシャルAIを中心に、スタートアップが生み出すイノベーションで、世界を先導し成長を続けるサステナブルシティ

もの
づくり

1901年に官営八幡製鉄所が操業を開始して以降、培ってきた“ものづくりのまち”としての産業基盤を生かし、ロボット、半導体、宇宙分野等のディープテックスタートアップの集積と、スタートアップと市内ものづくり企業との協業による競争力強化を目指す

グリーン

高度経済成長期に発生した公害を克服し、環境都市へ生まれ変わった技術・ノウハウを生かし、サーキュラーエコノミーや再生可能エネルギー分野を中心に、グリーンテックスタートアップによるイノベーションの創出を目指す。

ソーシャル
AI

他の大都市に先行して直面している少子高齢化等の社会課題を、AIや量子コンピューティングの活用により解決する
地元へ愛着を持つアトツギスタートアップによる課題解決を支援し、「課題解決先進都市」の実現を目指す

最大限活用

北九州市のポテンシャル

01 ものづくり企業の集積

鉄鋼・化学の素材部材、自動車メーカー、ロボット、半導体産業が集積

- ・ 製造業従業者数：全国11位
- ・ 製造品出荷額：全国15位



安川電機

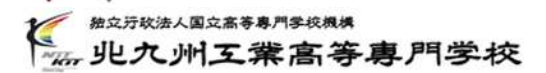
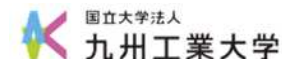
02 グリーン産業の集積

- ・ 北九州エコタウンにはリサイクル企業が集積（日本最大級）
- ・ 再生可能エネルギー導入容量 政令市3位



03 豊富な理工系人材

理工系14校・3,000人以上の人材を毎年輩出



04 北九州学術研究都市（知の集積）

理工系の国公立大学や研究機関が同一キャンパスに集積



北九州市のスタートアップ支援 全体像

方向性

大学発など市内スタートアップの創出、誘致の強化

スタートアップの成長

スタートアップによる課題解決・オープンイノベーション

産学官が連携したスタートアップ支援

COMPASS小倉

アクセラレーションプログラム
事業計画作成・資金調達・販路開拓支援

BizDev人材育成プログラム

アントレプレナーシップ教育

小中学生向け起業体験プログラム

PARKS

九州工業大学、北九州市立大学など
九州の20大学による
・大学発スタートアップの創出
・アントレプレナーシップ教育
・プレCxO人材確保



得意を活かす！シニアの起業応援事業

シニア向けの起業支援セミナー開催

開業ワンストップセンター

開業手続きを専門家がサポート

スタートアップビザ

外国人による起業の要件を規制緩和

企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業

市内スタートアップ成長支援プログラム

市内スタートアップに特化した
資金支援・伴走支援

- ・研究開発・実証枠 300万円×2年
- ・事業展開枠 800万円×2年

イノベーション支援プログラム

市内・市外スタートアップによる課題解決・
市内企業とのオープンイノベーションへ
資金支援・伴走支援

- ・行政課題解決枠 400万円×2年
- ・市内企業協業枠 300万円×2年

北九州イノベーションゲート

北九州市の行政・地域・企業が抱える課題とスタートアップをマッチング

スタートアップ成長支援ファンド事業

北九州市がファンドへの出資を通じてスタートアップの資金調達を支援

認定ベンチャーキャピタル

北九州市が認定したVC（35社）
からの資金調達を支援



ファンド

北九州市発VCがファンドを組成

シェアリングファクトリー

試作品製作拠点を、民間と連携して整備

スタートアップ公共調達フルコミット事業

事業担当局による公共調達において、
随意契約を可能とし費用を支援

トライアル発注（政策目的随意契約）

スタートアップ等のプロダクト・サービスを
随意契約で公共調達に接続

地域活性化起業人

民間人材がオープンイノベーションを支援

機運醸成
イベント

デモデイ・交流会を兼ねた
大規模イベント

国家戦略特区

規制緩和によるビジネス環境の整備

雇用労働
相談センター

雇用・労務管理に関する
相談対応（弁護士・社労士）

4

推進
体制
・
環境

スタートアップ・
エコシステム
推進拠点都市

- ・全国13エリアのうちの一つに選定
- ・国による支援



スタートアップ
エコシステム
コンソーシアム

産学官金（65団体）による
スタートアップ支援

スタートアップ
都市推進協議会

- ・12自治体が加盟
- ・首都圏マッチングイベントの開催
- ・JETROと連携した海外派遣プログラム
- ・海外大規模イベントへの参加

海外展開

コミュニティ・
オフィス提供



企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業 〈事業スキーム〉

- ✓ 市内スタートアップに特化した、研究開発・実証、事業展開に対する資金支援・伴走支援を行う成長支援プログラム
- ✓ スタートアップによる行政課題の解決や市内企業との協業に対し資金支援・伴走支援を行うイノベーション支援プログラム

令和8年度

令和9年度



市内スタートアップ成長支援プログラム

	研究開発・実証	事業展開
内容	市内スタートアップによる研究、製品・サービスの開発・改良又は実証実験等に対する資金支援・伴走支援	市内スタートアップによる製品・サービスのプロダクト・マーケット・フィット（PMF）のための活動等に対する資金支援・伴走支援
支援対象	未実装の製品・サービスの研究開発・実証を希望するシード期の市内スタートアップ 1社程度	実装された製品・サービスのPMF達成を希望するアーリー期の市内スタートアップ 1社程度
支援期間	最大 2 年度	
支援額	2年度で最大 600万円 /社 1年度あたり最大 300万円 /社	2年度で最大 1,600万円 /社 1年度あたり最大 800万円 /社
助成率	10分の10	
対象経費	土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、消耗品費、保守・改造修理費、外注費、その他経費 ※人件費（労務費）及び旅費は対象外 6	

イノベーション支援プログラム

	行政課題解決	市内企業協業
内容	北九州市が設定した課題を解決するための研究、製品・サービスの開発・改良又は実証実験等に対する資金支援・伴走支援	スタートアップと市内企業との協業による研究、製品・サービスの開発・改良又は実証実験等に対する資金支援・伴走支援
支援対象	北九州市が設定した行政課題を解決する技術・サービス（全て又は一部が未実装のもの）を持つ市内又は市外スタートアップ 2社程度	市内企業が協業を希望する技術・サービス（全て又は一部が未実装のもの）を持つ市内又は市外スタートアップ 2社程度 ※市内企業の同意を得た上で、スタートアップが応募すること ※共同研究は対象外
支援期間	最大 2 年度	
支援額	2年度で最大 800万円 /社 1年度あたり最大 400万円 /社	2年度で最大 600万円 /社 1年度あたり最大 300万円 /社
助成率	10分の10	
対象経費	土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、消耗品費、保守・改造修理費、外注費、その他経費 7 ※人件費（労務費）及び旅費は対象外	

イノベーション支援プログラム 「行政課題解決」 枠 募集テーマ①

No.	テーマ	課題	実施したい実証実験、求める技術・サービス
1	介護サービス提供時に駐車場を必要とする介護事業所と、空き駐車場をマッチングする仕組みの構築	<p>介護サービスの提供にあたり、利用者宅への訪問が必要な介護事業所にとって、サービス提供時間中の駐車場確保が課題となっている。</p> <p>コインパーキングが無いエリアも多く、訪問時の駐車場確保に苦慮している。</p>	<p>地理情報システム等のテクノロジーを活用し、地域の「空きスペース」と「訪問車両」をリアルタイムでつなぐマッチングアプリの開発・運用。</p> <p>併せて、「空きスペース」の開拓や管理を行う仕組みを一体的に構築する。</p> <p>〈アプリの機能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車スペースの可視化 ・ オンライン予約 ・ 駐車料金のキャッシュレス決済
2	北九州市の介護予防関連事業に対する効果判定及び改善案の提案	<p>介護保険の地域支援事業では、健康づくりに関する事業が数多く実施されている一方で、北九州市の高齢者を取り巻く状況や多様化する市民ニーズの変化を踏まえた見直しが十分に進んでない状況にある。</p>	<p>スタートアップの知見を生かし、地域支援事業、特に介護予防の取組をフィールドに、各種介護予防事業の効果判定や見直し案の策定に取り組む。</p> <p>※ 参加者の意識の変化や行動変容など、数値化が困難な変化を可視化し、事業前後の比較、時系列の評価、地域差を考慮した効果判定を行い、北九州市の実情に即した具体的な見直し案が提示できること。</p>
3	シニア世代が興味や体力にあわせて介護予防教室等を探せる仕組みの構築	<p>地域では、北九州市主催の介護予防教室に加え、民間スポーツクラブや個人のインストラクターによる多様な教室が数多く開催されている。</p> <p>しかし、健康意識がすでに高い層からの参加者が重複する一方で、「無関心層」や運動の必要性は感じつつも自分にあう活動が見つけれられないなど、「一歩踏み出せていないシニア層」へ情報が届いていないという課題がある。</p>	<p>① デジタル技術に限定しない多様な手法による、シニア一人ひとりの興味、体力及び心身の状態に応じた教室マッチングの仕組みの構築</p> <p>② フォーマルな社会資源と、民間事業者による実施教室やインフォーマルサービス等の地域資源との情報の一元化</p> <p>〈具体例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き取り項目や体力測定結果などから、本人の状況に応じたお勧めの教室を提案 ・ デジタルが苦手な層（情報の探し方が分からない方々）を取り残さないため、対面・アナログとデジタルを融合した仕組みの構築（例：デジタル機器の操作代行ボランティア） ・ 「健康のために」だけではない参加理由（健康ポイント制度を除く）の仕掛けづくりの提案（例：「教わる側」から「教える側・支える側」へのシフト＝役割を持ってもらう） <p>※ 「情報の探し方が分からない」、「自分の体力がどの程度か客観的に分からない」、「参加するきっかけ（動機）がない」などのシニア世代の課題を解決するため、北九州市の実情に即した具体的な取組の提案を希望。</p>

イノベーション支援プログラム 「行政課題解決」 枠 募集テーマ②

No.	テーマ	課題	実施したい実証実験、求める技術・サービス
4	豊かな人生経験や知見を有するシニアが活躍できるフィールドへの接続	労働人口や地域の担い手等が減少する一方で、高齢者の中で意欲がある方は活動へと転じる大きな可能性を秘めているため、適切なきっかけやサポートを提供したい。	<p>シニアの豊かな人生経験を可視化する「ケイケンお宝シート」を作成し、登録データベース「ケイケンお宝帳」を活用して、地域課題の解決等と適切に結びつけるマッチングを行う（本格的なマッチングは令和9年度から）。</p> <p>具体的には、シニア一人ひとりの強みと地域活動・ビジネス現場のニーズを精緻に合致させ、実際の活躍に繋げるための運用モデルを構築する。</p> <p>本プロジェクトでは、単なるマッチングシステムの提供にとどまらず、登録者の「経験」を「地域のニーズ」へ適格に変換・接続するためのノウハウ（目利きやコーディネートの指針）の提供や、マッチングを成功させるための具体的な伴走支援（アドバイス）を求める。</p>
5	障害のあるクリエイターの工賃向上に向けた仕組みの構築（アート分野）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州市の障害のある方の工賃は、全国平均を上回るものの低水準であり、自立した生活の実現には課題がある。 ・ 就労継続支援B型の利用者数は増加しており（直近5年で約1.4倍）、支援ニーズは拡大。 ・ 就労支援施設は、販路開拓やブランディングが十分に行えていない。 ・ アート制作には生活介護事業所を含む多様な事業所等が関与しているが、多くの事業所は展示にとどまり、作品を市場に届け、工賃向上につながる仕組みが未整備である。 ・ 具体的には、良い作品はあるものの、企業や市民が購入・利用に至るまでの広報から受注、納品に至る一体的な仕組みが構築されておらず、販売機会もイベント中心となっている。 また、購入やレンタルにつながった場合の、リピート利用や継続契約への展開が充分ではないため、適正な価格設定や安定的な工賃向上に結びつきにくい状況にある。 ・ 令和7年度に、北九州市の事業としてアートレンタル事業を試行しニーズは確認されたが、自走可能なビジネスモデルへの転換が必要。 ・ 併せて、作品・クリエイターの拡充、販路・マッチング機能の強化、安定的な運営体制の構築が求められる。 	<p>〈取組内容〉</p> <p>アート作品のレンタル・販売の仕組の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収益化可能な事業設計・価格設計 ・ 事業化に向けた事業所支援 ・ 効果的な広報の検討→アートの商品化、ブランド化 <p>〈求める技術・サービス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業・ホテル等とのマッチング機能の構築（ニーズ把握～提案～契約までの仕組み化） ・ サブスクリプション型アートレンタルやデザイン提供サービス等のビジネスモデル設計・運用 ・ 複数事業所の作品を束ねた供給体制のコーディネート（在庫・作品管理の仕組み化、価格設定）

イノベーション支援プログラム 「行政課題解決」 枠 募集テーマ③

No.	テーマ	課題	実施したい実証実験、求める技術・サービス
6	障害福祉サービス費の経費構造の分析	<p>障害福祉サービス費が増加傾向にある中、特に放課後等デイサービス及び就労継続支援B型については、利用者数、利用頻度、加算算定、事業所数の増加など、複数の要因が影響している可能性がある。</p> <p>こうした状況を踏まえ、支援を必要とする方に対して、支援ニーズに応じたより適切なサービスの提供につなげるため、サービス費の伸びの要因や事業所ごとの傾向を把握するためのデータを分析・可視化する必要がある。</p>	<p>放課後等デイサービス及び就労継続支援B型を対象として、請求データ、支給決定データ、利用実績データ、事業所情報等を活用し、サービス費の増加要因の把握、事業所ごとの請求や利用状況等について可視化するとともに、分析結果を踏まえ、状況確認を要する事業所を把握したい。</p> <p>〈求める技術・サービス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 請求データ等の統合・加工技術 ・ サービス費増加要因や事業所傾向を可視化する分析技術 ・ 類似事業所比較等による確認優先度の高い案件を抽出する技術
7	健康づくりアプリ「GO!GO!あるくっちゃKitaQ」の改善	<p>北九州市では、平成30年に全世代を対象とした無料の健康づくりアプリ「GO!GO!あるくっちゃKitaQ」を制作・公開した。</p> <p>これは、日々の健康づくりに役立てることができるよう、歩数計をはじめ、体重や血圧管理の機能を搭載している。</p> <p>さらに、健診等の日程周知、健康に関するお知らせなどの情報発信も行っている。アプリ内では、楽しく健康づくりに取り組むことができるよう、獲得ポイントにより抽選で景品が当たるなどのインセンティブ事業も併せて実施している。</p> <p>しかし、新規登録者数は年々鈍化し、アクティブユーザーも登録者数の1割程度と十分に活用されていない。</p> <p>また、個人の特定が困難であるため、歩数実績と健診結果の変化の相関関係データも把握・分析等できていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アプリの登録者及びアクティブユーザー数の増加に向けた機能や内容の見直し ・ 事業効果の向上が期待できる民間事業者等と連携する仕組みの構築

イノベーション支援プログラム 「行政課題解決」 枠 募集テーマ④

No.	テーマ	課題	実施したい実証実験、求める技術・サービス
8	次世代パワー半導体パッケージ技術開発・実証拠点のブランド化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州学術研究都市において、パワー半導体分野の研究成果を社会実装へつなげる共同研究体制の強化、最先端研究開発拠点としての機能向上、企業集積の加速、研究拠点としての知名度向上が求められている。 ・ 学研都市においてパワー半導体（SiC/GaN）に関する研究者・大学・企業が集積しつつあるが、研究成果を迅速に社会実装へ展開するための共創環境が十分ではない。 ・ AIデータセンター需要の急拡大により、高効率電源や次世代パワー半導体パッケージ技術の開発ニーズが高まっている。 ・ 企業集積を促進するためには、技術的な魅力・実証環境・研究成果の発信力を高め、学研都市の知名度を国内外に向けて強化する必要がある。 	<p>熱解析・信頼性評価・実装技術の高度化を進め、学研都市をパッケージ技術の中核拠点としてブランド化。</p>
9	市街地におけるムクドリによる被害対策実証	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地の街路樹にムクドリなどの野鳥が群れることがあり、市民から、「鳴き声が煩い」、「糞害が酷い」などの苦情が寄せられる。 ・ 例えば、黒崎駅前のふれあい通りの街路樹に、時期によるが夕方になるとムクドリが多数集まる。 <p>これまで、道路管理者が、試行的にライトを照射するなど対応してみたが、鳥は場所を少し移動するだけで、抜本的な対策ができていない状況である。</p>	<p>市街地におけるムクドリによる被害対策としての、音や光、周波などの技術を用いた、鳥が群れるのを抜本的に解決するための実証実験。</p>
10	有害鳥獣捕獲檻（箱ワナ）用の自動給餌機・システムの開発	<p>イノシシやサル等の有害鳥獣を捕獲するために箱ワナ等を設置した場合、定期的に箱ワナの中にエサ（米ぬかや野菜等）をやる手間がかかっており、特に山奥に設置した箱ワナ等の場合の負担が大きくなっている。</p>	<p>遠隔監視カメラ等で箱ワナ内の状況を確認し、定期的に自動で給餌ができる機器及びシステム等の開発。</p>

イノベーション支援プログラム 「行政課題解決」 枠 募集テーマ④

No.	テーマ	課題	実施したい実証実験、求める技術・サービス
11	空き家の有効活用による住宅市場の活性化	<p>北九州市では様々な対策により、空き家の発生予防等に努めているが、市内の空き家率は増加傾向である。</p> <p>老朽化する前の空き家を積極的に市場流通させることで、空き家の数を減少させる必要がある。</p>	<p>空き家を活用したビジネスにつながるもの。</p> <p>※ 店舗等へのリノベーションも含む。</p> <p>〈例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家を活用した地域貢献施設の創設 ・ 空き家の市場流通が活発になるようなツールの開発
12	空き家を早期に把握できるツール・仕組みの構築	<p>北九州市では様々な対策により、空き家の発生予防等に努めているが、市内の空き家率は増加傾向である。一方で発生した空き家の把握は通報に頼っているが、通報を受けて職員が現地に確認に行く方法のみであるため、1件1件の調査に時間を要している。</p> <p>周辺住民の安全・安心な生活環境に影響を与えるような危険な空き家を北九州市が把握できていない場合、対応が遅れるおそれがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が、危険な空き家情報を簡単に投稿・共有できるデジタルツールの開発 ・ 地域の主体的な情報提供を起点とした空き家の早期把握・迅速対応を可能とする仕組みの構築
13	フリーテーマ (応募者が提案)	<p>北九州市の行政課題及びその解決に資する取組を、応募者が提案してください。</p>	

支援対象スタートアップ等の定義（主なもの）

スタートアップ （全プログラム共通）

次のいずれにも該当する企業をいう

- ① 中小企業基本法第2条に規定する中小企業者であって、みなし大企業に該当しないこと
- ② 法人格を有すること
- ③ 設立してから15年以内であること
- ④ 株式市場に上場していないこと

市内 スタートアップ （市内スタートアップ成長支援プログラム）

次のいずれかに該当する企業をいう

- ① 法人登記簿上の本社又は本店が、北九州市内にある企業
- ② 主たる事業所が、北九州市内にある企業

※本事業による支援を開始した年度中に要件を満たす場合を含む

市内企業 （イノベーション支援プログラム 【市内企業協業枠】）

次のいずれかに該当する企業をいう

- ① 法人登記簿上の本社又は本店が、北九州市内にある企業
- ② 北九州市内に事業活動を行う拠点があり、かつ常勤の従業員を雇用している企業

※スタートアップと、大学等の研究機関による共同研究は対象外
ただし、研究機関との共同研究ではない協業は対象とする
（例えば、大学等の教育事業との協業は対象となる）

応募要件（主なもの）

市内 スタートアップ 成長支援 プログラム

- ① 今回応募する「市内スタートアップ成長支援プログラム」の「研究開発・実証枠」又は「事業展開枠」において、これまで、同一の枠で採択されたことが無いこと
- ② 現在、「イノベーション支援プログラム」に採択されていないこと

イノベーション 支援プログラム

- ① 今回応募する「イノベーション支援プログラム」の「行政課題解決枠」又は「市内企業協業枠」において、これまで、同一の枠で採択されたことが無いこと
 - ② 現在、「市内スタートアップ成長支援プログラム」に採択されていないこと
 - ③ 応募時点で北九州市内に拠点が無い場合、採択日から60日以内に拠点を設置すること（コワーキングスペースの席借りも可）。
- ※ 北九州市内に本社を設置する場合は、採択日が属する年度内で可。

応募可能件数

スタートアップ1社につき、1件とする。

2年度目の支援 (全プログラム共通)

- ① 本市の予算措置状況によるため、支援の中止や支援額の縮減があり得る
- ② 1年度目の取組結果や2年度目支援の必要性を審査し、支援の可否を決定する

事業スケジュール（1年目）

令和8年

6月10日（水）
～7月12日（日）

スタートアップ公募

- ・市内スタートアップ成長支援プログラム（2社程度採択予定）
- ・イノベーション支援プログラム
（行政課題解決枠：2社程度採択予定、市内企業協業枠：2社程度採択予定）

7月14日（火）
～24日（金）

一次審査（書面審査）

- ・外部有識者及び北九州市職員が提出書類を審査
- ・7月末頃に一次審査通過者を決定

8月5日（水）
～7日（金）
のどこか

二次審査（プレゼンテーション審査）

- ・外部有識者及び北九州市職員で構成する審査会
- ・8月中旬に採択者を決定

R8. 8月～R9. 2月

スタートアップ支援

- ・資金支援、伴走支援、事業の進捗確認、経費モニタリング 等

令和9年

10～3月
のどこか

スタートアップ機運醸成イベント「WORK AND ROLE」

- ・採択スタートアップの取組紹介、有識者によるトークセッション、スタートアップのプロダクト・サービスのブース展示、交流会 等

3月

- ・経費の精算、取組実績の取りまとめ
- ・2年目の支援を希望するスタートアップの審査・更新

審査基準

評価項目		評価の視点	配点
事業性	社会性	<ul style="list-style-type: none"> 社会へもたらすインパクトの大きさ・広がりはあるか。 社会課題解決とビジネスが両立するものか。 	10点
	先進性、競合優位性	<ul style="list-style-type: none"> 競合相手に対して優位な技術や特許等を有し、模倣困難なものであるか。 	10点
	新規性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業における取組は、技術・サービス又は事業領域において新規性を有するか。 	10点
	市場性、成長性	<ul style="list-style-type: none"> ターゲット顧客が明確で需要が見込めるか。 参入市場は成長可能性・収益性があるか。 	15点
	実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業における取組は、実現可能性が高いか。 	10点
北九州市での取組	北九州で取り組む意義	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市の現状・課題を理解しており、課題解決ができる取組の提案であるか。 本取組推進時の連携先や販路開拓先として想定される事業者や団体は明確か。 	10点
	成果目標、実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 設定目標は挑戦的かつ実現性の高いものか。 本取組及び経理事務を遂行できる実施体制となっているか。 	10点
北九州市への貢献	支援後の取組計画	<ul style="list-style-type: none"> 本事業における支援期間の終了後も、北九州市で事業を推進する計画が具体的に検討されているか。 	10点
	北九州市への定着	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市での事業拡大（売上、雇用、事業所拡大、設備投資等）をどの程度見込んでいるか。 	10点
加点項目	認定VCからの出資	<ul style="list-style-type: none"> <u>北九州市認定ベンチャーキャピタルから、令和6年4月1日以降に出資を受けていること。</u> 	5点
計			100点

北九州市認定ベンチャーキャピタル

35社のベンチャーキャピタル等が、北九州市のスタートアップ・エコシステムの発展に協力

名称	所在地	名称	所在地	名称	所在地
9Capital合同会社	北九州市	ANRI(株)	東京都	(株)東京大学イッジキャピタルパートナーズ	東京都
ひびしんキャピタル(株)	北九州市	インキュベイトファンド(株)	東京都	DRONE FUND(株)	東京都
SGインキュベイト(株)	福岡市	AAファンド有限責任事業組合	東京都	日本ベンチャーキャピタル(株)	東京都
(株)NCBベンチャーキャピタル	福岡市	AAファンド2号有限責任事業組合	東京都	HAKOBUNE(株)	東京都
(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ	福岡市	epiST Ventures(株)	東京都	(株)HERO	東京都
QBキャピタル(株)	福岡市	(株)エフベンチャーズ	東京都	Beyond Next Ventures(株)	東京都
GxPartners有限責任事業組合	福岡市	Gazelle Capital(株)	東京都	Full Commit Partners(株)	東京都
ベータ・ベンチャーキャピタル(株)	福岡市	(株)ゼロワンブースターキャピタル	東京都	三菱UFJキャピタル(株)	東京都
山口キャピタル(株)	下関市	(株)先端技術共創機構	東京都	(株)みらい創造機構インベストメンツ	東京都
栖峰投資ワークス(株)	京都市	(株)ディープコア	東京都	ユナイテッド(株)	東京都
ミライドア(株)	京都市	(株)Deep30	東京都	レオス・キャピタルパートナーズ(株)	東京都
地域と人と未来(株)	名古屋市	(株)デライト・ベンチャーズ	東京都		

➡ 認定VCから出資を受けるスタートアップは、スタートアップ・グロスサポート事業の公募審査の際に加点

令和8年度の伴走支援（事務局モニタリング）

- ✓ 令和8年度の支援期間は、採択日（R7継続採択は4/1、R8新規採択は8/中旬）～令和9年3月31日。
うち、採択日～令和9年2月28日が、取組の実施期間かつ
当該期間に発注した経費が資金支援の対象となる。
- ✓ イベントで取組発表（開催日等未定）。

	R8.8月	R8.9月	R8.10月	～	R9.2月	R9.3月
マイルストーン	4/1、8/中旬 採択			10～3月：WORK AND ROLE	取組発表	
採択企業	取組の実施期間					事業報告 ※3月中旬
	資金支援対象期間（この間に発注した経費が対象となる）					発注先へ、 3月末までに支払い
事務局	↑ キックオフ ・経費管理説明 ・伴走支援ヒア	↑ モニタリング ・経費執行確認 ・事業進捗確認	↑ モニタリング ・経費執行確認 ・事業進捗確認	↑ モニタリング ・経費執行確認 ・事業進捗確認	↑ モニタリング ・経費執行確認 ・事業進捗確認	令和8年度事業完了手続 ・事業報告確認 ・資金支援額確定 令和9年度支援手続（別途連絡） ・事業計画審査 ・資金支援額審査
主な提出書類	8月 概算払い請求申請書 ※概算払いを希望する場合 提出期限： 8月末頃	毎月（9月～） 経費支出明細、経費のエビデンス資料 随時 事業変更承認申請書 ※事業実施方法の主要な内容を変更する場合				3月 ・実績報告書 ・事業報告書 ・精算払い請求申請書 ※概算払いを受けなかった場合